

浦商生の皆さん、こんにちは。校長の内田です。

6月1日から再開した第1学期が、いよいよ幕を閉じようとしています。

学校再開に先立ち、学校を大きく2つに分けて、午前と午後に分散登校してもらった5月29日（金）、この日の始業式において、私が掲げた2つの目標を覚えていますか。

それは、「感染症の拡大防止と終息」、そして「学力向上と進路実現」です。これは、『浦商生徒向け「学校再開ガイドライン」』の合言葉「3密を避けて3つの徹底のもと、学力を高め進路実現を勝ち取る。」と同じ意味です。

浦商生の皆さん、振り返って、この「感染症の拡大防止と終息」、そして「学力向上と進路実現」の2つの目標の達成度はどのくらいですか。

まず1つ目の目標「感染症の拡大防止と終息」は、学校再開後に臨時休業や学級閉鎖などはなく、結果としてはよくできました。

途中、学校内部あるいは学校外部から、例えば「アルコール消毒液が不足している。」とか、「生徒が昼休みに対面で大きな声でしゃべりながら食事をしている。」とか、「先生が運動中に十分水分をとらせてくれない。」などの指摘や批判がありました。それに対して、例えば、担当の先生が消毒を徹底する体制や生徒が授業中でも水分補給ができる仕組みをつくってくれたり、放送委員会が昼休みに注意喚起を促す放送を入れてくれたり、登校した生徒が窓を開けて換気をしてくれたり、生徒の下校後、先生が教室の隅から隅まで消毒してくれたりしました。いろいろな人たちのちょっとした気遣いが、学校再開後の臨時休業や学級閉鎖などを防ぐ結果につながったのだと思います。ありがとうございました。

ここで、「感染症の拡大防止と終息」に関して、私から皆さんにお願いしたいことがあります。

それは、感染した人や濃厚接触者に対する差別や偏見を持つことは、絶対にあってはならないということです。感染症を起こさないように努力し成果を挙げることは尊いことです。しかしながら、細心の注意を払っていても、感染は起きてしまうことがあるのです。その時、そのことを批判したり、非難したりしてはいけません。感染した人や濃厚接触者が誰なのかを詮索することも、ある意味で犯人捜しのようで差別や偏見を増幅させる可能性があります。厳に慎んでもらいたいと思います。

次に、2つ目の目標「学力向上と進路実現」はどうだったでしょうか。

これについては、私は2極分化があるのではないかと不安を抱いています。つまり、しっかり取り組んでいる人とそうでない人がはっきりと分かれているということです。

例えば、臨時休業中、皆さんには多くの課題が課せられました。中には、学校ホームページ上のコミュニティルームにおいて課題がアップロードされたものもありました。実は、このコミュニティルームには課題がどれくらいダウンロードされているかがわかるカウンタがついています。それを日々見ていると、早々にダウンロードしている生徒たちがいる一方で、いつになってもダウンロードしない生徒たちがいるのがわかります。

また、6月に皆さんの通信環境を調べるアンケートを学校ホームページ上で実施しました。七百余名、七百名を超える生徒が回答してくれた一方で、約百名の生徒がついぞ回答してくれませんでした。ただし、回答してくれた七百名の中にも、自ら速やかに回答してくれた生徒もいれば、担任の先生に何度も促されてやっと回答してくれた生徒もいました。最近、いじめに関するアンケートもグループ・クラスルーム上で行いましたが、やはり回答しない生徒が一定数います。その中で、ほっと安心できたことは、3年生の回答率が高かったということです。

私は、先ほど、2つ目の目標「学力向上と進路実現」について、2極分化があるのではないかと不安を抱いていると言いました。その不安は、2極分化のうちの、課題をダウンロードしない生徒やアンケートに回答しない生徒に対して抱いているのです。

ところで、学力とは、学校教育法という法律でも決められているとおり、知識・技能と、思考力・判断力・表現力と、学びに向かう力、人間性の3つです。学校教育法などに基づいて、各学校の指導計画である教育課程をつくる際の基準になる学習指導要領がありますが、この言葉を借りれば、学力とは「生きる力」のことです。

そして、私が言いたいことは、これからの学力、つまり「生きる力」は、ICT（情報通信技術）との結びつきが極めて強いということです。

皆さんが利用しているグループウェアは、グループウェアとも言われています。グループウェアとは、ネットワークを使用し、情報共有やコミュニケーションを行いながら仕事の効率を上げるツール（道具）のことです。このグループウェアがあるから、職場から離れた場所でも、皆で協力しながら仕事ができるのです。

時間や場所に拘らない柔軟な働き方をテレワークといますが、これにはグループウェアが欠かせません。メールでは、現実空間（フィジカル空間）のコミュニケーションのように、大勢の人との相互通行なコミュニケーションはできません。一方、グループウェアであれば、インターネット上の仮想空間（サイバー空間）においても現実空間に近い形でコミュニケーションがとれるのです。

本校の図書館にもある、小山宙哉さんの漫画「宇宙兄弟」では、地球上のスタッフと宇宙空間の宇宙飛行士のコミュニケーションはすべて仮想空間（サイバー空間）で行われています。もちろん、地球上のスタッフ同士や宇宙空間にいる宇宙飛行士同士の会話は現実空間（リアル空間）でも行われています。しかしながら、地球と宇宙の間では、仮想空間（サイバー空間）のみで行われています。このように、宇宙における知的活動が、仮想空間（サイバー空間）における情報共有やコミュニケーションで支えられ成り立っているのです。

このように、これからの仕事や勉強では、主体的に多様な人々と知識を出しあって新しい知識を創造することが求められますが、その時のツール（道具）としてICTが求められます。遠まわしな言い方ではなく、より具体的に明確に言えば、浦商においては、グーグル・クラスルームをつかいながら、学力を育むことをしてもらいたいのです。この取組が、いずれは、これからの世の中でつかえる学力を育むことにつながります。

ところで、新型コロナウイルス感染症に伴う経済停滞に対して、様々な補助金が交付されました。その時、インターネットで申請する際に申請内容にミスがあり、支給が遅れたり、郵送に切り替えたりする事例がたくさんありました。これなどは、ICTをツール（道具）として十分につかいこなせていない状況を示す事例なのではないでしょうか。

結びとなりますが、これから夏休みを迎える皆さんは、引き続き、「感染症の拡大防止と終息」、そして「学力向上と進路実現」の両立を心掛けてください。「感染症の拡大防止と終息」については、密閉・密集・密接の3つの密を避けるとともに、手洗い・マスク・消毒という3つの徹底を肝に銘じてください。万が一、感染した人や濃厚接触者が出て、決して差別や偏見はしないでください。そして、「学力向上と進路実現」については、グーグル・クラスルームを十分に使いこなせるようトレーニングしておいてください。

第2学期は、8月25日（火）から始まる予定ですが、感染症の趨勢は予断を許しません。日頃から、学校ホームページやグーグル・クラスルームをチェックして、適切な対応ができるようにしてください。特に、8月25日（火）は、これらの確認をしてから登校してください。

それでは、第2学期始業式で、皆さんと会えることを楽しみにしながら私の話を終わります。

（3，149文字 ≒ 10分間）